

投稿ひろば



大平祭

ボランティア
コンサート

8月29日(土)に中津胃腸病院で開催された納涼花火大会の前座コンサートに出演しました。患者さんがよく知っていて元気が出る曲を選んだ甲斐があり、会場は笑顔に包まれました。早く元気になるてください。

9月22日(火)に参加したのは大平祭で開催された大平祭。「歌って踊ってカーニバル」と題されたこのイベントは、名前の通り会場のお客さんたちが歌ったり手拍子を打ったりと熱気に満ち溢れています。



中津胃腸病院前座コンサート

花植え活動の
成果がでたよ!

7月25日(土)に勢いよく伸びた友枝川の草を9人で刈りました。大雨続きで川の水が増水していたので、怪我をしないよう安全第一で作業を実施。作業の後はみんな並んでスイカで乾杯!夏場の草刈やコスモスの手入れを続けたお陰で、9月中旬からコスモスが咲き始め、オオタデと彼岸花が競うように咲いた友枝川は、地域の人たちの目を楽しませています。仙寿庵前に植えたコスモスも見ごろを迎え、お客さんを喜ばせています。



草刈作業



スイカを打ち上げ



投稿ひろば

有田地区の炭焼き窯が復活

8月31日(月)に有田地区炭焼き保存会発足後、初めての窯入れをしました。地元の中島保男さんに習いながら薪木を窯に入れ、記念すべき第一回目の火入れを行いました。

地区の人たちが集まって、何か1つのことをやるということで、地区に活気が芽生え始めた1日でした。

宣伝

薪木を探しています！取り出しの良い場所を提供してくれる方がいればご連絡ください。

また、有田の澄んだ空気のもとで育ったサツマイモが収穫時期を迎えています。芋ほりをしたい方がいればご連絡ください。【問い合わせ先】

有田地区炭焼き保存会
代表 中島 健
電話 090-1197-8294



薪木の突入れ作業

有田地区炭焼き保存会

投稿ひろば

廃油のリサイクルやってみました！

7月16日(木)に吉岡の貴船神社で、廃油を使った石けん作りにチャレンジしました。講師に築上町の鶴田さんに来てもらい、石けん作りをから教えてもらったおかげで、集めた廃油は見事石けんに生まれ変わりました。

午後からは、盆踊りで上毛万年音頭を踊ろうと、上毛町文化協会の上毛万年音頭指導者の方に、音頭の振り付けを指導してもらいました。完璧にマスターできました！

吉岡交流会

吉岡の子どもたち全員集合！

8月8日(土)に子供会の親子に声を掛けて木工を楽しみました。指導者は地域づくり団体の強い味方「よらんかい」の山下朗さん。子どもたちは、接着剤で木を組み合わせながら、作品を上手に作り上げました。その後はみんなで流しソーメン。子どもたちは竹筒の器に流れてきたソーメンをたくさんとって、お腹いっぱい食べました。

吉岡交流会



上手にできたよ！

「わくわく友枝瓦版」第5号発行

8月28日(金)に大平支所会議室で9月1日に発行の「わくわく友枝瓦版」の最終校正会議を行いました。友枝地区以外の瓦版愛読者(有料)をどうやって増やしていくかを検討し、友枝を離れた身内や同窓



最新号「わくわく友枝瓦版」

宣伝

友枝地区以外の愛読者募集

「わくわく友枝瓦版」は町の認定事業(3年間で成り立っているため、認定期間終了後も地域の魂もり発信健全経営のため、区域外から購読料付愛読者を募集しています。

◎購読料 1,000円
(郵送料込年間4部発送)

編集部が責任を持ってその都度送付いたします。遠方のご家庭には非お動めください。【問い合わせ先】友枝新聞発行し隊 代表 菅原 忠 電話 84-7566

地域交流の主役「谷山川」

7月11日(土)・12日(日)と8月2日(日)の3日間、うはけらの活動拠点である谷山川の清掃活動を行いました。大雨で川が氾濫しないよう、大型機械で川の泥上げをして、その後はみんなで草刈をしました。山裾を流れる谷山川は石積みがきれいで下村地区の、のどかな雰囲気をつくりだしてくれています。作業の後は、みんなで得意のバリエアを作って歓談。冬に向けてリース作りやイルミネーションについて話し合いました。

うはけら



うはけら特製CO2P



川の泥上げ作業

子どもたちも環境美化に取り組んでいます！

8月23日(日)に地域の清掃活動として、ゴミ袋と火ばさみを手に、地域内を3班に分かれてごみ拾いを行いました。集まったごみは、参加した子どもたちにも分別方法を知ってもらおうと、可燃ごみ・不燃ごみ・カン・ビンに分けました。花植え活動や清掃活動により地域がきれいになっていますが、また、ポイ捨てによるごみは無くなりません。子どもたちもきれいになった地域を見て、ポイ捨てをしないでほしいと願っています！



安曇西交流会



投稿ひろば

投稿ひろば

地域イベント初参加!

地域づくり活動事業に認定されてから、みなさんの前でお囃子を披露する回数が増えてきています。7月18日(土)の「地域づくり交流会」を皮切りに、8月16日(日)の「道の駅しんよしとみ夏祭り」、9月22日(火)に大平祭で開催された「大平祭」、10月11日(日)の「上毛祭」など、大勢の前で演奏する機会の少なかつた子どもたちは緊張しながらも

終わつたあとは満足げな表情。お囃子隊のテーマ曲「芽吹」に続いて応援曲も創作し、上毛祭で初めてお披露目しました。アイルランドの民謡を手本にお囃子風にアレンジした曲で、みんなが考えた生懸命練習しました。



イベント参加に向けて練習にも熱が入りまき。



▲原井トネルの上にある傾城石

さあ、行こうまちあるきイベント 下見第2弾「東上めぐり」

3月に開催する第2回まちあるきイベントの下見を9月26日(土)に行いました。抜けるような秋空のもと隠れた歴史の詰まった東上めぐりです。東上の八社神社を出発地に選び初めに向ったのは108段の石段を登る友枝公園。大正時代に作られた公園で近くに住む小川島さんから八社神社や友枝公園の歴史について話をうかがいました。

次に向つたのは原井トネルの上にある傾城石です。東上の中村誠さんから石のいわれを聞くメンバー。「伝説は誰も知らず経験してないので私流に解説します」と話し始めた中村さんの話がおもしろくて静かな山が爆笑の渦に包まれ、らトンを越えようかと思われ傾城石がギョコンパツタンした錯覚に陥られました。



▲大きなイモがたくさんできて笑顔の笑顔



▲有田地区は豊前海や中津市街を一望できる絶景ポイント



▲道端に咲くコスモスや彼岸花が視界を隠してくれ楽し。



▲お盆の3日間点灯した提灯

百穴を飾る幻想的な提灯

今年で2回目を迎えた百穴横穴墓群の提灯飾りは、隣接するふどう組合の所有地を快く提供していただいたため、念願のブドウ栽培用のポンプ小屋を解体することができ、百穴の景観がとてきれいになりました。

百穴横穴墓群は古墳時代の家族墓であり、百留地区唯一の文化財です。お盆の3日間限定で点灯する提灯は、辺りを温かい光で包み幻想的な光景となりました。



▲ポンプ小屋の解体

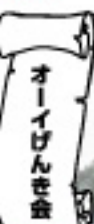
今年には広くなった駐車場を利用して「盆踊りで供養しよう」の合言葉で地域の大人や子ども



子どもとのふれあいゲートボール

8月21日(金)に安曇ゲートボール場で地域の子とも10名とオーイげんき会のおばあちゃん8名でふれあいゲートボールを行いました。子どもたちはおばあちゃんからボールの打ち方を教わり、さあ試合開始。2チームに分かれて試合を行いました。試合時間が短かったため物足りない様子でした。そこで、子どもだけの個人競技を急ぎ準備。子どもたちは目の色を変えて真剣勝負を行いました。中にはゴルフの石川遼君顔負けの見事なタッチでゲートをくぐり抜ける天才的な

少年の技にみんなから拍手をもらうなど、とても楽しいふれあいになりました。



新米カップ成功に向けて

8月23日(日)に宇佐市で開催された「ソフトテニス近県宇佐大会」に参加し、11月8日(日)に開催する第1回上毛新米杯のピトーアル活動を行ってまいりました。大会に社長の部で参加した、福本・宮崎ペアが3位入賞を果たしました。

現在、新米杯の開催に向けて、グランドの除草作業や整備活動のほか、菅野の新米の袋詰め作業等、メンバーが力を合わせて大会の成功のために頑張っています。ぜひ、皆さん当日は会場に応援に来てください。ポランテイアスタッフも募集中です。

【問い合わせ先】
上毛コミュニティ新米クラブ
代表 大田浩
電話 72-3797

